

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第26号

2010年9月16日

☎: 3605-5594

http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/

原水爆禁止世界大会報告集会

36名参加

戦争は絶対起こさない決意！

8月24日、今年の報告会は出席された片の目の前に軽食が並び、食べながら和やかに渡辺さんの司会で、高野雄子さん、大沢一夫さんの二人の広島での世界大会参加の報告が始まりました。

第一日目、開会式の中で目に付いたのは若い女性が大会に送ってくれた方が折ってくれた折鶴で「平和」の文字を作って参加して



いたのが印象的でした。

夕食は足立区からの参加代表団35名で交流会を持ちました。2日目の朝、平和資料館「嵐の中の母子像」など巡りながら、蒲原の皆さまに協力して折って頂いた千羽鶴を納めてきました。ありがとうございました。

平和記念公園には沢山の記念の銅像や慰霊碑が建っていてそれぞれに千羽鶴が飾られていました。

世界大会の分科会には「憲法9条を生かした非核平和の運動」に大沢さん、地球環境と核兵器の廃絶に高野さんが参加しました。イラク戦争後、劣化ウランを埋め込んだまま放置されている廃戦車の中に入り遊んだり鉄を集めていた子どもたちが「原爆症」に罹っているという報告にショックを受けたという大沢さん。

原爆資料館には被爆当時の品物が

看護・介護の相談会

いつ 毎月、第3木曜日10時
どこで 小児科診察室
普段、受診しても先生と相談する時間がなく困っていること・わからないことなど相談ができます。

10月は21日10時

沢山陳列されていて見学にきていた学生たちが目を見張る様な光景を見てもしョックを受ける様子もなく平気でカメラに収めている姿を見て何とも言いようのない気持ちになったそうです。

三日目の終了大会、来賓の挨拶、被爆体験者の訴え、草の根運動の人たちの報告、コーラスと盛沢山の内容です。最後に足立代表団の団結集会が行われました。

今ではアメリカの人たちも沢山広島を訪れているそうです。二人の報告は以上です。

続いて来年の区議選に立候補を予定している友の会の役員でもあるはたの昭彦さんも足立区で平和の大切さを伝えて行くことと挨拶。被爆者で現在も白血病のKさんも平和を希求する川柳を披露し子どもたちを大切にしようとして訴えました。友の会の亀井さんの戦争体験を聞

きました。8月のかばら支部ニュースの投稿をさらに幅を広げて話して下さいましたが話上手なので聞き入っていました。

次に東京大空襲体験者で「大空襲の語り部」活動を行っている山田さんのお話を聞きました。以前は教師をされていて体験当時は9歳だったそうです。父親は江東区深川橋、清州、三つ目通りの交差点で下駄屋を営んでいました。空爆は2時間半に及び大型トラック400台の爆弾が使われ100万人の人たちが家を焼かれ街全体が高温になり、人々は暑くて水を求めて逃げまどい多くの方は隅田川に飛び込み亡くなったそうです。山田さんは50cm位の水たまりに入ったおかげで助かったそうです。



火は3日間燃え続け消えませんでした。当時は写真機が普及していなかったので写真はあまり残っていません。生き残った人が思い出

しながら絵に描いたのが記録として残っています。街中は死体がゴロゴロ、駒形橋、言問橋にも逃げまどう人々で溢れ、川に飛び込んで死んだ人で川が埋まった凄惨な絵を見せていただきました。戦争はこれが現実なのです。戦争はもう嫌です。憲法9条を守って行きましよう。

歯科の佐藤事務長の閉会の辞で報告会は終了しました。参加人数は34名とお子さん2名でした。報告会に沢山の参加ありがとうございました。

担当 大谷内 和子

第8期 蒲原健康講座のご案内

2010年9月~10月

課	開催日時	テーマ	講師
第1課	9月1日(水) 14:30~16:30	歯から始まる健康づくり	山本 世津子 先生 蒲原歯科診療所・歯科衛生士
第2課	9月18日(土) 14:30~16:30	生活習慣病に関わる薬について	松森 由佳 先生 東あやせ薬局・薬剤師
第3課	10月6日(土) 14:30~16:30	禁煙のすすめ	近藤 るみ 先生 東和保健センター・保健師
第4課	10月16日(水) 14:30~16:30	認知症について	水野 洋平 先生 地域包括支援センター・社会福祉士
第5課	10月30日(土) 14:30~16:30	肩・腰・膝の痛み	高 重義 先生 蒲原診療所・所長

参加費:1講座200円(友の会員は100円)但し3課4課は無料
申し込み・問い合わせ先:蒲原診療所1階受け付け 電話 3605-5594

かばらふれあい川柳

五十回をむかえます

かばら支部の川柳は2ヶ月に1回の「句会」ですが、年数にすると8年余になるのです。社会の移り変わりと共に、歴代首相が何人変ったやら、光陰矢の如しの観です。

「かばらふれあい川柳」の始まりは、蒲原には川柳の指導者で適任の鈴木清氏がおられるから、香り高い文芸サークルを作ろうと呼びかけられたことから始まりました。かなり天の邪鬼だった私は、即参加しました。俳句のように季語や切れ字等、約束事も少なく日常の言葉で、寸鉄人を打つ、穿ち、批判が出来る面白さがあります。文芸など素人ばかりの私達に川柳の「イロハ」と評を五七五で伝えられる指導にどれほど教えられたことが、清師から頂いた最後の八ガキの日付に二十年八月の消印があり、それには
五十年妻の料理の舌になり
と詠まれて、「ご自身が急逝されるなど夢にも思わなかったと忍ばれ、残念でなりません。」

九条の声で平和の手を繋ぐ

未知数の余生欲を捨てきれず

を忘れません。羅針盤を無くした

私達ですが、心ひとつに起き上がり、句友は皆ハイレベル。今、立

派に航海を続けています。これからも同好の志を多数迎えて、楽しんでいきたいと思えます。

蛇足の二句。事実は小説より奇なり唯呆然。

UFOも吃驚仰天未確人

爺婆はどこぞの山へ芝刈りに

参考にして頂きたい本

小説鶴彬(暁を抱いて)

吉橋通夫 新日本出版社

川柳と言つ方法

南野 耕平 本の泉社

中川 平野 千世子

川柳の投句者(50句)

50回を記念して皆さまの川柳を公募することになりました。課題は「秋」「祭り」と「自由」(時事)一人2句まで

締め切り:10月5日まで医科受付まで

普大間基地の無条件撤去求め 朝日新聞に意見広告

沖縄・米軍普大間基地の即時閉鎖・無条件撤去と、名護市辺野古への新基地建設反対を訴える新聞意見広告を、11月上旬をめどに、朝日新聞全国版に掲載するつもりが、始まりました。

沖縄県名護市の12日の市議選で、移設反対の稲嶺進市長派が大勝したこともお分かりのように、地元住民の意思は「基地ノー」がはっきりと示されました。



戦後65年間基地を押し付けられた沖縄の苦しみをなくすには基地の撤去しかありません。友の会役員会も基地を撤去するこ

かばら健康講座(第8回)始まる

病気になるたり、身体が不自由になると、自分だけでなく、家族に大きな負担がかかるし、家計にも支障がでます。ですから、どうやって病気になるないようにするか、病気がどうつきあうかは、人生の最大関心事です。
かばら健康講座は、私

かばら支部恒例の 日帰りバス旅行

予定日は11月21日(日)

行先は実行委員会で決めます。実行委員をやって頂ける方を募集します。希望の場所も募集!

とに賛成です。そのため、会員の皆さんに広く「意見広告」への賛同募金を呼びかけることを決めました。
金額は特に決めず多少にもかかわらずご協力をお願いします。
蒲原診療所玄関に募金箱を用意します。ので来所の際にご協力をお願いします。

たちのこの思いに込めるために始まりました。回を重ねるごとに聴いてくださる方が増え、昨年は延べで250名の方が参加。中には診療所にかかっていないのでバス経路を何度も確かめて来てくださった方もおられました。

昨年は目の病気(緑内障・白内障)の原因や治療法を地元の眼科の先生に来ていただき、目のことをこんなに勉強したのは初めてとの感想をもらいました。
また「うつ病」では、「うつ病は心の風邪」だが放置すると重大な事態になるなど・・・。

各回とも質問は活発で笑いあり、うなづきありの楽しい場になっており時間が足りないくらいです。今年も5つのテーマで行います。第1回は、9月1日に「歯から始まる健康づくり」とのテーマでかばら歯科衛生士の山本さんに話してもらいました。気温35度の酷暑の中28名の方が来場、熱心に聞きました。

内容は歯と口の働き全般でした。おいしい食事はパワーの源、唾液の働き、虫歯や歯周病、「パタカラ」発音体操で口のまわりの筋力アップなど多岐にわたりました。第2回以降のテーマは別表のとおりです。それぞれ魅力的な内容です。どうぞご参加ください。

実行委員長 久保 正雄